

講師：

大阪公立大学大学院 理学研究科  
量子物質開拓研究センター 研究所長  
山口博則 先生

講演タイトル：

「量子有機物質群 V-QOM が創り出す先進的量子磁性体の電子スピン共鳴」

講演概要：

「近年、分子を用いた新たな物性や機能の創出は、基礎研究から応用技術に至るまで、材料科学の最前線で注目を集めています。私たちは、この流れの中で、分子の設計性と多様性を活用し、量子磁性体の研究を推進してきました。特に、量子有機磁性体 (V-QOM) の開発は、従来の無機材料では達成できなかった柔軟な物質設計を可能にし、量子磁性体の研究にブレイクスルーをもたらしています。本講演では、量子磁性体がどのような特性を持ち、私たちのアプローチがどのように新しい物性を解明しつつあるのかを、テラヘルツ帯の電子スピン共鳴測定を用いた例などを交えてご紹介します。異分野の研究者や学生の皆様にも、分子を通じた先進的な研究の魅力を伝えることができればと思います。」